

PRESS RELEASE

2010年9月10日
株式会社三菱総合研究所

2010年4-6月期2次QE後「内外景気見通し」改定値

株式会社三菱総合研究所（代表取締役社長 田中将介 東京都千代田区大手町二丁目3番6号）は、内閣府より9月10日に発表された2010年4-6月期GDPの2次速報値（2次QE）を受け、8月17日当社発表の「2010・2011年度の内外景気見通し」におけるGDP予測値の改定を行った。

◆ 予測結果 ー実質GDP成長率は10年度+2.1%、11年度+1.3%

実質GDP成長率は、10年度+2.1%、11年度+1.3%と予測する（1次QE時からの変更は10年度変更なし、11年度▲0.4%ポイント）。

10年度については、4-6月期GDPの上方改定（実質前期比+0.1%→+0.4%）、エコポイント制度の延長（来年3月まで）などがプラス要素となる一方、円高の進行による輸出や設備投資への影響、株安による消費マインドの悪化などがマイナス要素となろう。11年度については、エコポイント制度の終了に伴う反動減などから、消費の減速を予想する。

日本経済は、引き続き回復基調にあるものの、円高・株安の進行や海外経済の減速などを背景に、景気の回復テンポは、やや鈍化している。先行きについては、新興国経済の堅調持続を主因に、緩やかながらも回復傾向が持続するとの基調判断に変更はないが、下振れリスクは高まっている。

図表 日本経済見通し総括表

		今回見通し			前回(1次QE後、8月17日)	
		2009年度 実績	2010年度 予測	2011年度 予測	2010年度 予測	2011年度 予測
		(単位:前年度比)				
実質GDP	実質国内総生産(実質GDP)	▲ 1.9%	2.1%	1.3%	2.1%	1.7%
	民間最終消費支出	0.7%	1.4%	0.3%	1.6%	0.7%
	民間住宅投資	▲ 18.5%	▲ 3.1%	3.9%	▲ 1.0%	7.5%
	民間設備投資	▲ 15.3%	3.0%	3.4%	1.7%	3.6%
	民間在庫品増加(寄与度)	▲ 0.5%	0.0%	0.2%	▲ 0.1%	0.2%
	政府最終消費支出	1.7%	1.2%	0.9%	1.2%	0.9%
	公的固定資本形成	9.3%	▲ 11.3%	▲ 9.3%	▲ 12.4%	▲ 9.6%
	財貨・サービス純輸出	***	***	***	***	***
	財貨・サービス輸出	▲ 9.5%	17.9%	5.1%	18.7%	6.2%
	財貨・サービス輸入	▲ 11.8%	9.9%	3.2%	10.2%	3.4%
寄与度	内需寄与度	▲ 2.3%	0.7%	0.8%	0.6%	1.1%
	民需寄与度	▲ 3.0%	1.0%	0.9%	0.9%	1.2%
	公需寄与度	0.7%	▲ 0.3%	▲ 0.1%	▲ 0.3%	▲ 0.1%
	外需寄与度	0.4%	1.5%	0.5%	1.6%	0.6%
名目国内総生産(名目GDP)		▲ 3.6%	1.1%	0.8%	1.0%	1.3%
GDPデフレーター		▲ 1.7%	▲ 1.1%	▲ 0.5%	▲ 1.1%	▲ 0.4%

資料：実績は内閣府。予測は三菱総合研究所。

《本件に関するお問合せ先》

(株)三菱総合研究所 〒100-8141 東京都千代田区大手町2-3-6
 政策・経済研究センター 武田洋子、森重彰浩 電話:03-3277-0594 Email: morisige@mri.co.jp
 広報・IR部 笠田・鈴木 電話:03-3277-0003 Email: media@mri.co.jp
 ※本資料は、内閣府記者クラブに資料配布しております。